

産業廃棄物処理計画書

令和5年 8月 31日

茨城県知事
大井川 和彦 殿

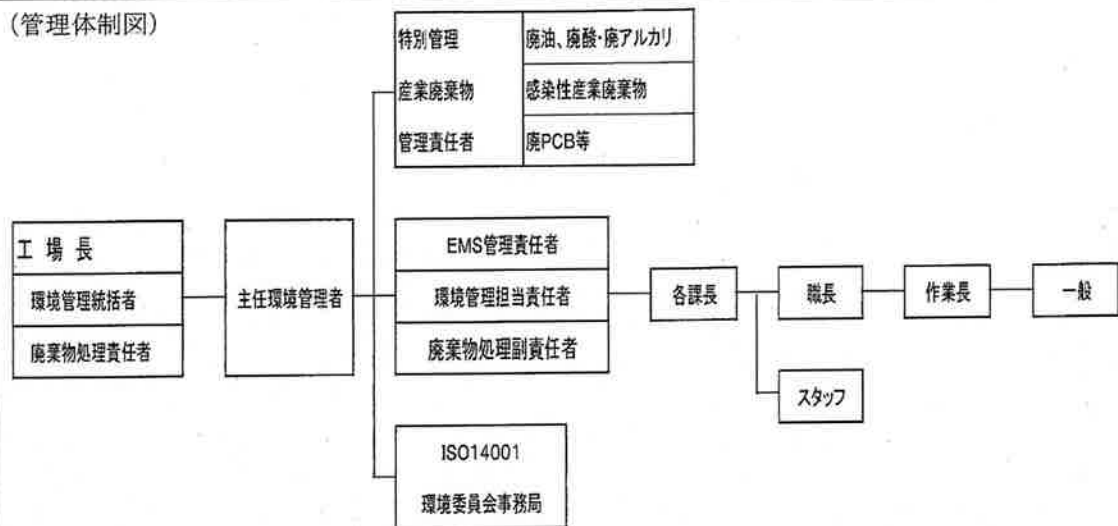
提出者
住所 茨城県つくばみらい市坂野新田
氏名 株式会社クボタ 筑波工場
工場長 神原 裕司
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0297-52-5112

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社クボタ 筑波工場
事業場の所在地	茨城県つくばみらい市坂野新田
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	一般機械器具製造業
②事業の規模	3,258億円
③従業員数	3,631人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<div>◇素材 →加工 →洗浄 →サブ組立 →塗装 →総組立 →出荷</div> <div>◇鋼板 →プレス →溶接</div> <div>◇外注部品</div> <div>↑ ↑ ↑</div>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（4年度）実績】		<別紙1のとおり>	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		<別紙1のとおり>	
	産業廃棄物の種類			
	排出量	t	t	
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各部門、職場での発生する産業廃棄物を種類、名称並びに処理、処分に依じて分別収集を行う。その為、職場別に容器を設置。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 各職場での分別収集により集められた廃棄物をリサイクル分別ヤードで同様に分別、保管する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

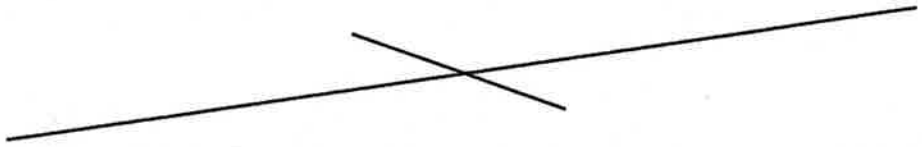
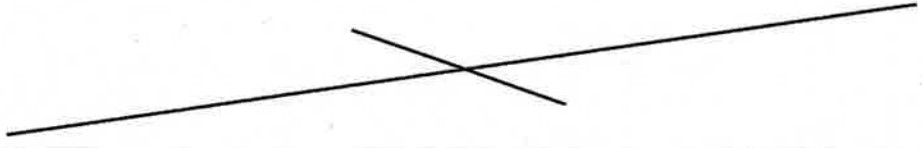
①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		

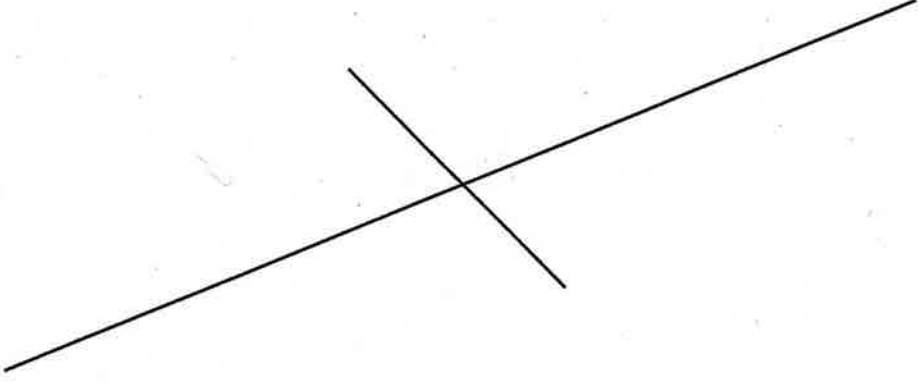
(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
			

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		<別紙2のとおり>	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量	t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	t		t
	再生利用業者への処理委託量	t		t
	認定熱回収業者への処理委託量	t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t		t
	(これまでに実施した取組)			
				

②計画	【目標】		<別紙2のとおり>	
	産業廃棄物の種類			
	全処理委託量		t	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	t
	再生利用業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	t
	(今後実施する予定の取組)			
				
※事務処理欄				

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

(単位:t)

①現状 【前年度(令和4年度)実績】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず(電池類)	金属くず	ガラスくず(照明機器)	ガラスくず(蛍光灯)
排出量	927.17	2,881.24	2,030.38	581.69	712.67	591.47	0.55	0.30	0.04	0.62
これまでに実施した取組	・機械加工部品の不良の低減	・水溶性切削液の減量化	・塗装ブース排液の減量化	・塗装ブース排液の減量化	・分別の徹底	・輸出入用エンジン、トラクタの木枠梱包から鉄枠梱包への変更	・分別の徹底	・歩留まりの向上	・分別の徹底	・分別の徹底
②計画 【目標】										
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず(電池類)	金属くず	ガラスくず(照明機器)	ガラスくず(蛍光灯)
排出量	911.0	2,832.0	1,996.0	572.0	701.0	581.0	0.5	0.3	0.0	0.6
今後実施する予定の取組	・機械加工部品の不良の低減 ・廃水処理量の低減と廃水処理汚泥の含水率の維持向上	・水溶性切削液の減量化、塗装ブース排液の減量化、前処理液の更新延長の更新延長の継続	・塗装ブース排液の減量化、前処理液の更新延長の継続	・塗装ブース排液の減量化、前処理液の更新延長の更新延長の継続	・購入部品梱包の簡易化、分別の徹底	・木製パレットのリース利用、輸出入用エンジン、トラクタの木枠梱包から鉄枠梱包への変更	・分別の徹底	・歩留まりの向上	・分別の徹底	・分別の徹底

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

(単位:t)

①現状【前年度(令和4年度)実績】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず(電池類)	金属くず	ガラスくず(照明機器)	ガラスくず(蛍光灯)	ガラスくず	がれき類(石綿含有産業廃棄物)
全処理委託量	927.17	2,881.24	2,030.38	581.69	712.67	591.47	0.55	0.30	0.04	0.62	16.39	0.00
優良認定処理業者への処理委託量	927.17	2,881.04	2,030.38	581.69	601.80	131.21	0.55	0.30	0.04	0.62	3.15	0.00
再生利用業者への処理委託量	801.42	2,877.25	1,230.63	581.69	614.20	591.27	0.55	0.30	0.04	0.62	3.23	0.00
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0.00
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	37.33	0	0	0	133.11	0.00	0	0	0	0	0.00	0.00
これまでに実施した取組	・廃水処理汚泥を ・薬液固化処理で の最終埋立処分 からセメント原料 用等のリサイクル 品に転換する。	・燃料としてリサイ クル	・更液を時間基準 から液質基準に 変更し、更液周 期延長を図る。	・更液を時間基準 から液質基準に 変更し、更液周 期延長を図る。	・分別徹底により 有価物として売 却	・板ベレット等の 木屑は、パーティ クルボード再生品 としてリサイクル	・金属屑は、 100%リサイクル に努める。	・埋立処分から路 線材の建設副資 材としてリサイク ル	・埋立処分から路 線材の建設副資 材としてリサイク ル	・埋立処分から路 線材の建設副資 材としてリサイク ル	・分別の徹底	・分別の徹底

②計画【目標】

産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	木くず	金属くず(電池類)	金属くず	ガラスくず(照明機器)	ガラスくず(蛍光灯)	ガラスくず	がれき類(石綿含有産業廃棄物)
全処理委託量	911	2,832	1,996	572	701	581	1	0	0	1	16	0
優良認定処理業者への処理委託量	911	2,832	1,996	572	592	129	1	0	0	1	3	0
再生利用業者への処理委託量	788	2,828	1,210	572	604	581	1	0	0	1	3	0
認定熱回収業者への処理委託量	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	37	0	0	0	131	0	0	0	0	0	0	0
これまでに実施した取組	・廃水処理汚泥を 薬液固化処理で の最終埋立処分 からセメント原料 用等のリサイクル 品に転換する。	・燃料、路線材、 セメント原料とし てリサイクル	・更液を時間基準 から液質基準に 変更し、更液周 期延長を図る。	・更液を時間基準 から液質基準に 変更し、更液周 期延長を図る。	・分別徹底により 有価物として売 却	・板ベレット等の 木屑は、パーティ クルボード再生品 としてリサイ クル	・金属屑は、 100%リサイクル に努める。	・埋立処分から路 線材の建設副資 材としてリサイク ル	・埋立処分から路 線材の建設副資 材としてリサイク ル	・埋立処分から路 線材の建設副資 材としてリサイク ル	・分別の徹底	・分別の電子化、 分別の徹底